



## ■ 静岡県浜松市で給電の体験講習会を開催

10月23日、富士ロジテックホールディングスの浜松ロジスティクスセンターにて、日本ALS協会静岡県支部が主催、電源ドナー協会が共催して災害時を想定した体験型の講習会として行われました。

静岡県内で三島市、静岡市、浜松市の3つの拠点で給電拠点として電源ドナーに参加する富士ロジテックホールディングスからの依頼に基づき患者や支援者、関係者を集めて災害時を想定した実運用を確認し意見交換をしました。

当日は、ALS患者家族、医師、看護師、支援者、県会議員、市会議員、保健所などから約40名の参加があり、地元新聞社、テレビ局の取材も行われました。



浜松ロジスティクスセンター

### <ポイントの説明> 電源ドナー協会より

- ・BCPを基本とするCSRの取り組みであり、必ず対応すると約束はできない事を説明。
- ・自助で備えるポータブル電池を使い切り、医療機器の内蔵電池が使える時間(仮に5時間)で電源が無くなる。手動で凌げるようにできる訓練も大切と説明。
- ・一般向けと分けずに「弱者を支える取り組み」として告知している事を説明。
- ・具体的な運用は当協会は管理せず、地域内で会話を重ね構築して欲しいと説明。



リーチ型フォークリフト(3台)

### <想定する手順の説明> 電源ドナー協会より

- ① 日頃から電源ドナー地図アプリで給電拠点を確認する。
- ② アプリを見て事前連絡をして受入れの了解を確認する。  
(連絡が通じない場合/断る場合もある)
- ③ 受入れOKの場合、ポータブル電池を持参して充電に来る。  
(電池の状態によるが3~4時間/急速受電も対応可能)



バッテリーとの接続を説明



倉庫内での説明風景

### ◆ 来場者の感想 (SNSより)

- ・関心の高い関係者が集まり、皆が熱心に話を聞く姿があった。
- ・政策として真剣に取り組まねばと決意を新たにしました。
- ・電源ドナーの会員がさらに増えるよう働きかけを行っていきます。
- ・非常に重要な活動と実感しました。
- ・可能性がある業界企業と連携し登録企業拡大が必要です。
- ・無償で電源を提供する事に手を挙げて下さった富士ロジテック様、心より感謝いたします。
- ・電源ドナーの取り組みが早く広がりますよう心より願っております。

